第６回100年企業顕彰

経産大臣賞にホテル佐勘・坂口電熱

100年経営の会（事務局＝日刊工業新聞社）は2023年12月15日、創業100年を超える優れた長寿企業を表彰する「第６回100年企業顕彰」（日刊工業新聞社共催、経済産業省・中小企業庁、日本商工会議所、全国商工会連合会後援）の贈賞式を都内で開いた。最優秀の経済産業大臣賞のうち、地域を支える役割を担ってきた老舗企業に贈る地域共栄部門のホテル佐勘（仙台市太白区）、事業革新を継続し成長を遂げた老舗企業に贈る事業革新部門の坂口電熱（東京都千代田区）を表彰した。このほか中小企業庁長官賞の２社などを合わせた計23社に表彰状が贈られた。

不変と革新の長寿企業

須藤長官（左）から坂口電熱の蜂谷社長（右）らに表彰状が贈られた

経済産業大臣賞　事業革新部門

坂口電熱 社長
蜂谷 真弓 氏

日々の仕事 創業者精神原点に

これまで受賞された皆さまは創業100年を裕に超える企業さまが多く、中でもホテル佐勘様は1000年という大変長い歴史を持っていらっしゃる。その中で、2023年1月10日にようやく100周年を迎えた当社が経済産業大臣賞事業革新部門を受賞したことは大変光栄に思っている。

私たちには大切にしている創業者精神がある。それは「私たちは生かされている。企業経営はその社会恩に報いるものである」というものだ。日々の仕事はすべてここが原点になっている。そして日々の仕事をより有意義にするのは「人の心の力」に他ならないと考えている。

経済産業大臣賞受賞企業としての抱負を三つ述べたい。一つ目は電熱技術を通じて、これからも環境に配慮した製品開発を続けること。二つ目はお客さまにとって唯一無二の存在であり続けること。三つ目は社員一人一人が人としての成長を実感でき、互いの成長を心から喜び合える企業風土を育み続けることである。

これら三つの抱負は社訓の「三方よしの実をあげましょう」に通ずるものがあると思う。この上は受賞企業の名に恥じぬよう、ますます精進してまいりたい。

経済産業大臣賞　地域共栄部門

ホテル佐勘 社長
佐藤 勘三郎 氏

安心・安定・信頼感を大事に

佐勘は「伝承千年の宿」と言っているが、1000年前から旅館業をやっていたわけではない。仙台市の調査によると、約600年前に山の木を切って当館のそばを流れる名取川に流すといった製材業を営んでいたようである。そういった製材関連の仕事から職人が入浴する温泉を生業とするようになった。まさにサステナブルというのは、こういうことなのだろう。

私たち温泉旅館というのは、地域が企業と近い関係にある。2022年にNHKの「知恵泉」という番組に出演させていただいた時には「地域の利益なくして、会社の利益なし」「地域のにぎわいなくして、会社のにぎわいなし」と話した。ある意味、地域に寄り添いながら地域とともに歩んできたのが旅館業である。そういう意味で経済産業大臣賞地域共栄部門の受賞は、私どもの受賞というよりも温泉旅館全体で受賞したという意味合いの方が大きい。

当館は21年と22年の福島沖地震で被災したが、思い切って従来の客層を見直し、大浴場とレストランをリニューアルした。顧客ニーズの変化に対応した結果、旅館全体の評価を上げることができた。これからも安心感、安定感、信頼感を大事にしていきたい。

来賓祝辞

中小企業庁長官
須藤 治 氏

企業の新たな挑戦 政策で支援

ひと言で100年と言っても関東大震災、第2次世界大戦、オイルショック、リーマン・ショックなど幾多の試練を乗り越えてきたと思われる。その中で時代に合わせて変えるべきところを変えていく、あるいは変えてはいけないものを持ち続けて事業を継続してきた。そうした受賞企業の皆さまに心からお祝いを申し上げたい。

昨今の経済情勢を見ると、全国的な人手不足や原材料高・燃料高のほか、グリーンやデジタルなどの新しい課題も生じている。中小企業の皆さまにはさまざまな課題の中で、新しいチャレンジに取り組んでいくことが求められている。これは100年企業でも創業まもない企業でも同じことであると思っている。

中小企業庁は、企業の皆さま方が新しいことにチャレンジしていく、きちんと経営を守っていくことに対する支援の政策を磨き上げていきたいと考えている。

今回受賞された皆さまは100年近い実績を基に、地域発展や従業員の生活を守るという面で貢献していただいている。あるいは新しい時代の中でビジネスチャンスをつかんで事業に挑んできた企業ばかりである。こうした取り組みにあらためて敬意を表したい。

あいさつ

100年経営の会 会長
北畑 隆生 氏

優れた日本の経営のあり方 発信

日本は人間の平均寿命が世界一の長寿大国だが、企業も同様だ。100年を超える日本企業は4万社を超え、世界の半数を占める。その特色の一つは江戸時代以前に創業し、数百年の歴史を持つ老舗企業で、大臣賞を受賞したホテル佐勘がその典型だ。もう一つは明治以降に日本の経済発展とともに創業した100年以上の歴史を持つ企業で坂口電熱がその典型例と言える。

長寿企業には三つの共通項がある。一つ目は「パーパス経営」とサステナビリティー（持続可能性）だ。堅実経営で短期的な利益の拡大より長期の持続的発展を遂げている。二つ目が社会貢献。利益の中から高い比率で寄付するなど地域経済を支えてきた。三つ目は100年間に多くの苦労を経験したこと。震災や戦争などを乗り越え、コロナ禍でも雇用を守り倒産しなかった。

100年経営の会はこうした優れた日本の経営のあり方を国内外に発信し、その理論を学び共に発展していこうという団体である。それだけに、この顕彰制度を今後も発展させていきたい。

中小企業庁長官賞を受賞した（右から）NiKKi Fronの春日英廣会長と小林製作所の小林靖典社長

事業革新・地域経済貢献など重視

100年経営の会は日本に数多く存在する創業100年を超える優れた長寿企業を表彰する顕彰事業を2015年に始めた。21年の第5回に全国規模の開催となり、最優秀の経済産業大臣賞を創設した。今回は経済産業省・中小企業庁のほか、新たに日本商工会議所と全国商工会連合会が後援に加わった。

従来の応募では過去3カ年の賃借対照表・損益計算書の提出が必要だったが、非公開企業に限り公認会計士や税理士、取引先金融機関が「企業永続のための財務状況」を確認、承認すれば応募できる特例を設けた。企業は状況に合わせて応募方法を選択できる。

募集は23年4月下旬から8月末まで。経産省・企業庁、日本政策金融公庫、商工組合中央金庫に募集や審査で支援を受けた。このほかモンテ・カセム国際教養大学理事長・学長、曽根秀一静岡文化芸術大学教授、桑野和泉玉の湯（大分県田布市）社長らが審査にあたった。

同年9月と11月に審査委員会を開き、一次審査の合計点と審査委員の評価点を基に各賞を決定した。審査では長期持続経営や事業革新、地域経済への貢献などを重視した。

その結果、戦乱やコロナ禍を乗り越えて国際会議を引き受けるほどの温泉旅館になったホテル佐勘と、伝統的な電熱技術に磨きをかけてきたことで半導体や航空宇宙など最先端産業を支える存在となった坂口電熱が経済産業大臣賞を受賞した。中小企業庁長官賞は成長性が認められた小林製作所（石川県白山市）、長年にわたり事業革新を続けてきたNiKKi Fron（長野市）が選ばれた。

第6回100年企業顕彰受賞企業（同賞内五十音順）

■**経済産業大臣賞（地域共栄部門）**

▽ホテル佐勘（仙台市太白区）創業＝江戸初期（中世の時代より土着）、事業内容＝温泉旅館業

■**経済産業大臣賞（事業革新部門）**

▽坂口電熱（東京都千代田区）1923年、産業用ヒーター、温度センサー、温度調節器、耐熱・断熱素材の製造・販売

■**中小企業庁長官賞**

▽小林製作所（石川県白山市）1919年、精密板金・組み立て・塗装・提案型設計。システム開発・販売

▽NiKKi Fron（長野市）1896年、フッ素樹脂製品・摩擦材の製造、射出成形機の組み立て

■**100年経営の会会長賞**

▽アンテックス（東京都港区）1917年、旋回ベアリング、リング鍛造品、溶接構造歯車の設計・製造・販売

▽大塚産業マテリアル（滋賀県長浜市）1706年、自動車用内装品、健康・介護器具部品、靴・雑貨ラミネート品、リビング家具・事務用椅子カバーの生産

▽小正醸造（鹿児島県日置市）1883年、焼酎、リキュール、スピリッツ、ウイスキーの製造・販売。全酒類の卸売業

▽笹屋伊織（京都市南区）1716年、和菓子の製造・販売

▽第一滝本館（北海道登別市）1858年、旅館業

■**日刊工業新聞社賞**

▽エヌ・エス・エス（新潟県小千谷市）1884年、精密機械器具（工作機械、産業機械用スピンドルシャフト、スピンドルユニットなど）の製造・販売

▽ソミックマネージメントホールディングス（浜松市南区）1916年、織機用部品（ボルト・ナット）、自動車用部品（エンジン用ボルト、ボールジョイント）、ディスク型ダンパーの製造など

▽ムラコシ精工（東京都小金井市）1918年、自動車用重要機能部品、木工用ジョイント・家具および住設機器用機能部品の製造・販売

▽結城運輸倉庫（東京都江東区）1923年、運輸事業、港湾運送事業、倉庫事業

▽勇心酒造（香川県綾川町）1854年、皮膚用化粧品の製造、清酒や米醸造発酵製品の製造・販売

■**優良100年企業表彰**

▽イリス（東京都品川区）1859年、機械・装置・複合加工システムの企画・販売

▽岡田鈑金（東京都大田区）1923年、各種産業機器の精密板金加工

▽菊地工業（静岡県吉田町）1837年、産業用織物（ベルトなど）の製造

▽木下サーカス（岡山市北区）1902年、サーカス興行

▽太陽ケーブルテック（大阪市北区）1923年、電線および電線加工品の製造・販売

▽ナカリ（宮城県加美町）1923年、米全般、政府所有の備蓄米の保管業、エネルギー関連、不動産事業

▽梅花堂紙業（名古屋市北区）1923年、梱包材・緩衝材のコンサルティング、企画提案・設計、製造・販売。健康食品製造、家具製造・販売

▽日立建設（山口県宇部市）1920年、舗装工事、道路工事、路面切削工事、橋梁工事、ダム工事、トンネル工事、造成工事など

▽丸叶むらた（埼玉県桶川市）1708年、線香・ろうそくなど仏具の企画・製造・販売・卸売業

会員企業募集中
（入会資格は、創業60年以上）
「長寿経営」を理論・体系化し、国内外に発信
100年経営の会
国内には創業100年を超える長寿企業が世界の半数を超える4万社以上あります。当会は、これら長期持続経営を新たな企業価値として体系化し、国内外に発信するとともに、長期持続経営を実践する企業や、それを目指す企業の交流の場として、日本経済の原動力となるべく活動しております。

100年経営の会 会長
（元経済産業省事務次官）
北畑 隆生

■ 勉強会事業
■ 長寿企業の価値の普及活動（シンポジウムの開催・情報発信事業）
■ 100年企業の顕彰事業（経済産業省・中小企業庁との連携）
■ 海外長寿企業・団体との連携

お問合せ／お申込み先　100年経営の会事務局
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1（日刊工業新聞社内）
TEL：03-5644-7608　E-mail：100nen@media.nikkan.co.jp